

R7 年度ソテリア大門地域連携推進会議 議事録

日時：2026年1月26日(月)10:00~11:00

場所：ソテリア大門

参加者(順不同)：津市大門大通り商店街振興組合 三宅理事長

大門町自治会 三澤会長

津市基幹障害者支援センター相談員 堀山様

就労継続支援 B型ピュア代表・さんかれん理事松本様

合同会社代表 Strada 近藤代表

ソテリア大門メンバー3名 ／ ソテリア大門職員 浪分、高田

内容：

○施設見学

○会議内容：

1. 地域連携推進会議とは

地域連携推進会議は、グループホームの運営や支援内容を地域と共有し、利用者の権利を守りながら、より良い支援をつくっていくための場です。

2. ソテリア大門の概要

- ・ 事業所名：グループホーム ソテリア大門
- ・ サービス：共同生活援助（グループホーム）
- ・ 対象：障害のある方
- ・ 定員：4名
- ・ 運営法人：NPO 法人 東京ソテリア

支援の基本姿勢

- ・ 一人ひとりの生活リズムと意思を尊重
- ・ 安心できる「暮らしの場」を大切にする
- ・ 医療・福祉・地域との連携を重視

3. 日常の支援について

- ・ 食事・服薬・金銭管理などの生活支援

→服薬の管理/一緒に調理/外出/通院同行など

- ・ 通院や関係機関との連携：榎原病院、県立こころの医療センター、三重大病院、久居病院、渡部クリニック、美濃歯科、訪問看護、計画相談、福祉事業所等との連携

- ・ 日常の声かけ・見守り

- ・ 本人の「できること」を増やす支援

→個々の生活スケジュールと共同生活とのバランスのとり方や、食事のメニューの決め方、スタッフにはどんなスキルがあるとよい？等ご質問をいただきました。

4. 事故・苦情・虐待防止について

以下の点をご報告しました。

事故・ヒヤリハット：日常的に記録・共有し、再発防止に取り組んでいます。

苦情対応：苦情や相談は真摯に受け止め、改善につなげています。

虐待防止：虐待防止責任者の配置、法人内職員研修の実施、相談しあえる職場づくり。

5. 地域との連携について

- ・ 地域との良好な関係づくり
- ・ 防災・見守りへの協力

→大門町自治会の回覧板で数年毎に防災訓練等実施の案内が回るので確認し、参加していく。地域住民の参加が少ないため、中学校の協力を得て実施している。

→津波の際は、大門の立体駐車場はスロープになっているので高台へも移動しやすい。

→センターパレスにA E Dあり。職員の方は研修を受けている。

→消防署に依頼をすると消火器の使い方の指導の消防訓練を実施してくれる。一定の人数と場所が必要なので、例えばピュアさんとソテリアのメンバー合同で、ソテリア大門の駐車場で、という形で開催してもよいかもしれない。

- ・ 地域行事への参加（可能な範囲で）

→新年度も大門大通り商店街にて夏祭り等実施予定、ソテリア今年も参加していくといい。

6. その他いただいたご意見

- ・ 子ども食堂は今後も継続して取り組んでもらえたらと思う。
- ・ 町会においても、ぜひ意見があれば届けてほしい。
- ・ さんかれん（三重県精神障害者家族会連合会）では、精神障がいをもつ方への支援が他の障害と比べて少ないとから、精神疾患を知ってもらおうという取り組みを意識している。地域の、日常の中で人々と出会う機会を大事にしている。地域の人たちが同じ目線で見れるような社会づくりをしていきたい。
- ・ 大門大通り商店街では、こうした支援に積極的な関心はなかったところから、ピュアさんがいらして、ソテリア大門もきて、より連携して地域づくりをすすめていきたいと思う。
- ・ 共同生活のよさも生かせるように、皆で何かと一緒にしたり、楽しみを共有できる機会もあるといい。皆でスポーツ、ボーリング案。
- ・ 施設ではなく、家庭的な環境であることが特徴だと思う。鍵を持ち、個々が責任をもつ。希望する生活へ主体的に生活していくために。

以上

(文責：高田)